

# ろうきんの 理念

ROKIN of philosophy

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して

会員の信頼に応えます。

# ろうきんの 事業運営

ROKIN of business operation

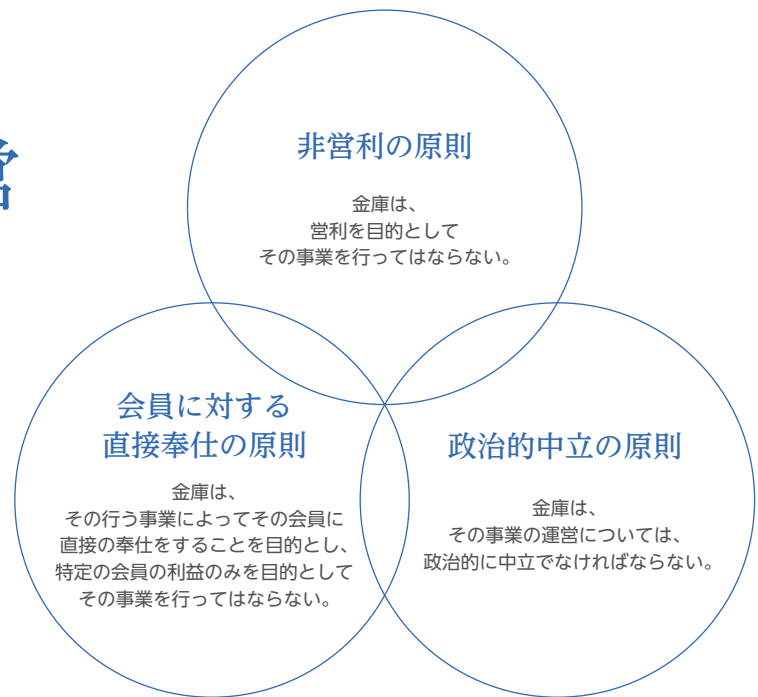
ろうきんは、労働金庫法第5条に定められている

「非営利の原則」「会員に対する直接奉仕の原則」

「政治的中立の原則」に基づき、

中期事業計画及び年度事業計画等を策定し

事業運営を行っています。



## ろうきん業態セーフティネット

お客様の預金を守る公的なセーフティネットとして「預金保険制度」があります。

ろうきんでは、この「預金保険制度」とは別に、ろうきん業態独自のセーフティネットを用意しています。

1番目の柱は、全国労働金庫協会（労金協会）及び労働金庫連合会（労金連）による定例的な経営状況のモニタリングと労働金庫監査機構による監査です。経営上の問題が認められる場合には、その問題の程度に応じて必要な措置を講じ、問題の早期改善を図ることとしています。

また、労働金庫監査機構は全国ろうきんの監査を実施し、指導を行っています。

2番目の柱は、労働金庫連合会の金融機能を活用した「ろうきん相互支援制度」です。

万一、ろうきんに経営上の問題が生じ、支援が必要となった場合には、労働金庫連合会が緊急資金の貸出しや資本注入、資金援助を行うことにより経営をサポートします。

# ろうきんの基本姿勢

ROKIN of basic stance

ろうきんは、労働組合や生活協同組合の働く仲間が  
お互いを助け合うために資金を出し合って創った  
協同組織の金融機関です。  
世の中に金融機関はたくさんありますが、  
純粋に働く人の金融機関と呼べるのは  
ろうきんだけです。  
ろうきんは、労働金庫法に基づいて「非営利」を原則に、  
会員の一人ひとりが主人公として  
公正かつ民主的に運営されています。  
利用者は全国で約1,000万人。  
多くの働く人とそのご家族の方々に  
広く利用されています。  
ろうきんの業務内容や取扱商品は、  
一般の銀行とほとんど変わりはありません。  
しかし、働く仲間から預かった資金は、  
働く仲間の大切な共有財産として  
住宅・結婚・育児・教育・介護など、  
働く仲間の生活を守り、  
より豊かにするために  
役立てられています。

